

2024 年度 第 2 回自治医科大学附属病院医療安全管理監査委員会 報告書

1 日時

2025 年 2 月 5 日（水）10:00～12:00 立体駐車場棟 大会議室

2 監査委員

委員長 尾澤 巖（地方独立行政法人栃木県立がんセンター 理事長）
副委員長 大槻 マミ太郎（自治医科大学 副学長）
委員 内山 聖（悠久崇徳学園 常務理事）
山口 育子（認定NPO法人ささえあい医療人権センターCOML 理事長）
齊藤 正昭（自治医科大学附属さいたま医療センター 医療安全管理室長）

3 自治医科大学附属病院出席者

管理者 川合 謙介（病院長）
医療安全管理責任者・医薬品安全管理責任者 今井 靖（副病院長・医薬品・医療機器安全管理部門長）
医療の質向上・安全推進センター長 新保 昌久（病院長補佐）
診療録管理責任者・代理 松原 直人（医療情報部・システム運用管理室長）
診療録管理責任者・代理 神田 美智子（医療情報部・診療情報管理室長）
医療機器安全管理責任者・代理 木村 好文（臨床工学部技師長）
医療放射線安全管理責任者・代理 寺島 洋一（画像診断部技師長）
感染制御部長 笹原 鉄平
病院事務部長 平寄 正俊

4 監査方法

特定機能病院としての医療安全管理体制等が機能しているか等、医療安全管理の取り組み状況等について、外部監査員による必要な是正措置を含む助言や指導を行う

5 監査実施項目

- 1 自治医科大学附属病院医療安全管理について
- 2 高難度新規医療技術の導入及び未承認新規医薬品等を用いた医療提供について
- 3 医療放射線安全管理の現状について
- 4 院内感染症対策について
- 5 院内ラウンド

6 監査結果及び意見

- ・医療安全に係る体制ならびに業務の状況について監査を実施した結果、医療に係る安全管理が適正に実施されていることを確認した。
- ・ラウンド時に現場の看護師に薬剤の投与についての話を聞いたが、その内容から薬剤師と適切にコミュニケーションを取っていることが確認できた。様々な職種とコミュニケーションを取ることで医療安全が進み、事故が無くなっていくと思う。
- ・インシデントレポートや、若手教育の面での取り組みを全国に発信していただきたい。チェックリストの運用等について、改善の余地がある印象であるため、改善向上を目指してやっていただきたい。
- ・研修医のインシデントレポートに力を入れていることが確認できた。上級医についても報告数を増やしていただきたい。チェックリストについて、現在は患者も参加することが重要になってきているため、チェックに患者を加えていただくとさらに安全である。意思決定の指針を作成しているが、アドバンス・ケア・プランニング(ACP)を患者向けに説明することも進めていただきたい。
- ・意思決定の指針について、共同意思決定(SDM)について文章化されている点に感銘を受けた。チェックリストについては、作成後の運用面が重要であるため引き続きモニタリング等をしていただきたい。

以上